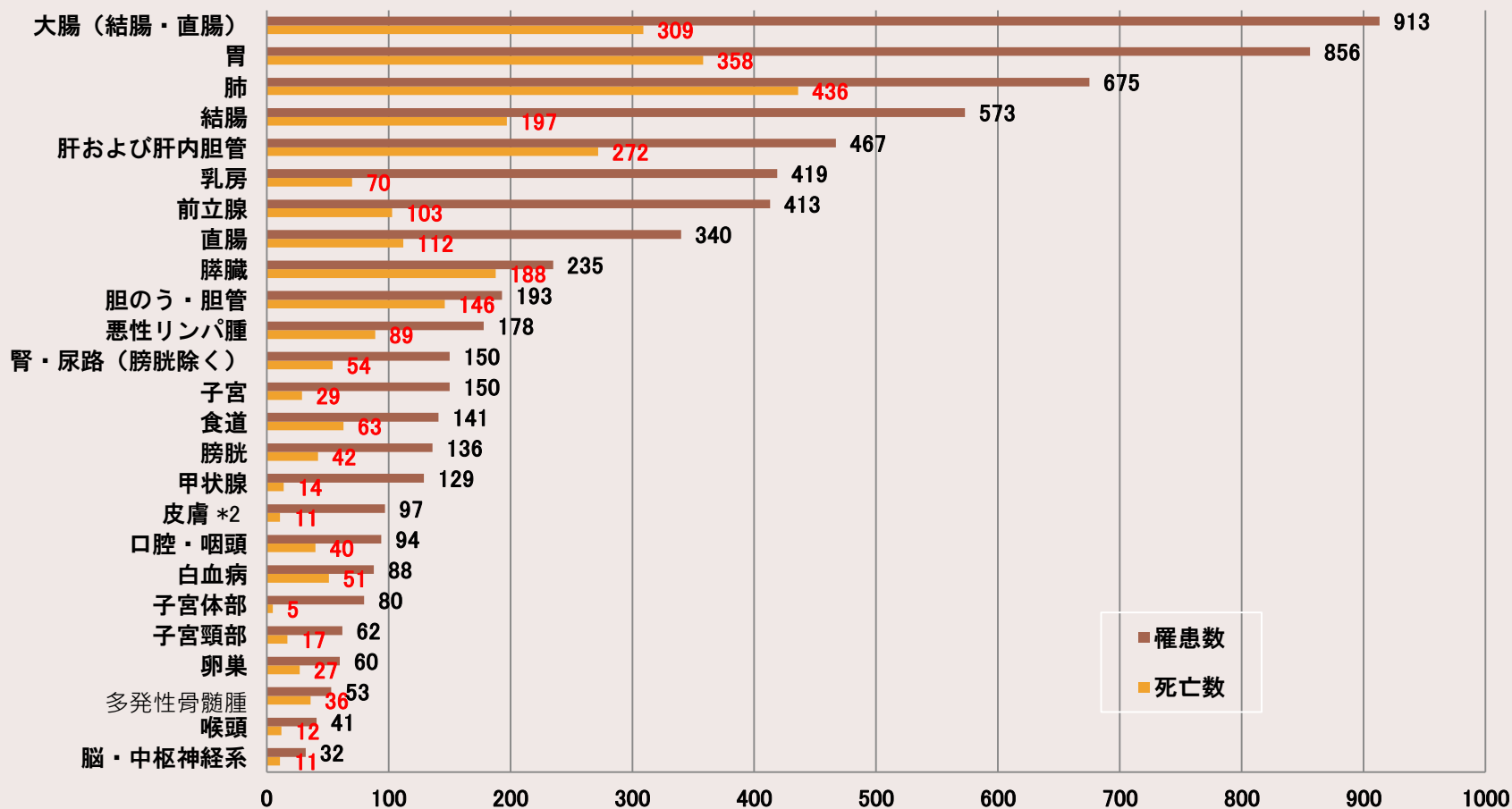


地域がん登録を施策に活かすために
山梨まんまくらぶ 若尾直子編集

山梨県地域がん登録2008 データから見た山梨県のがんの傾向

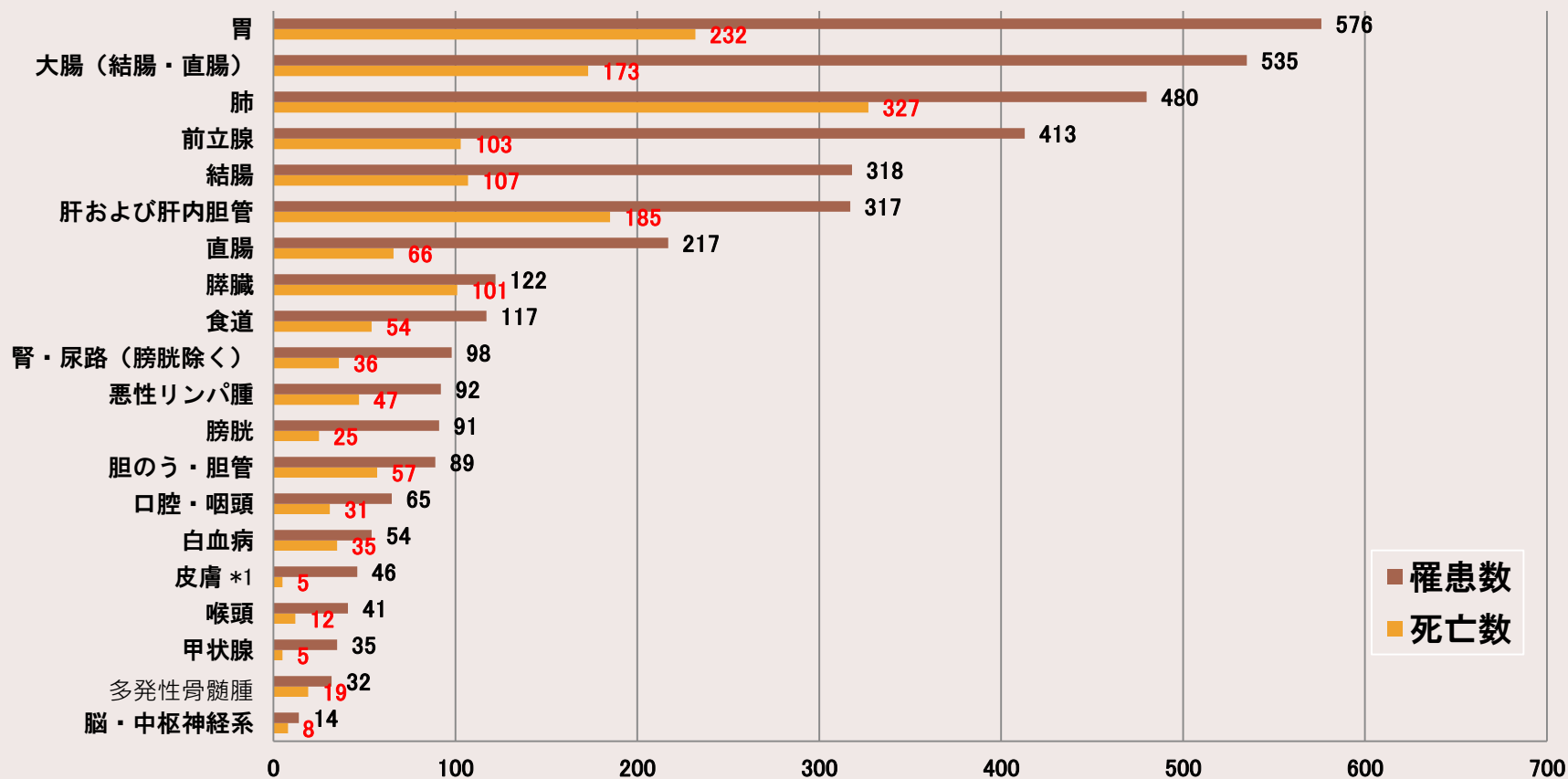
2008年1年間のがんに関するデータ（男女）

山梨県がん死亡数・罹患数 男女 2008年



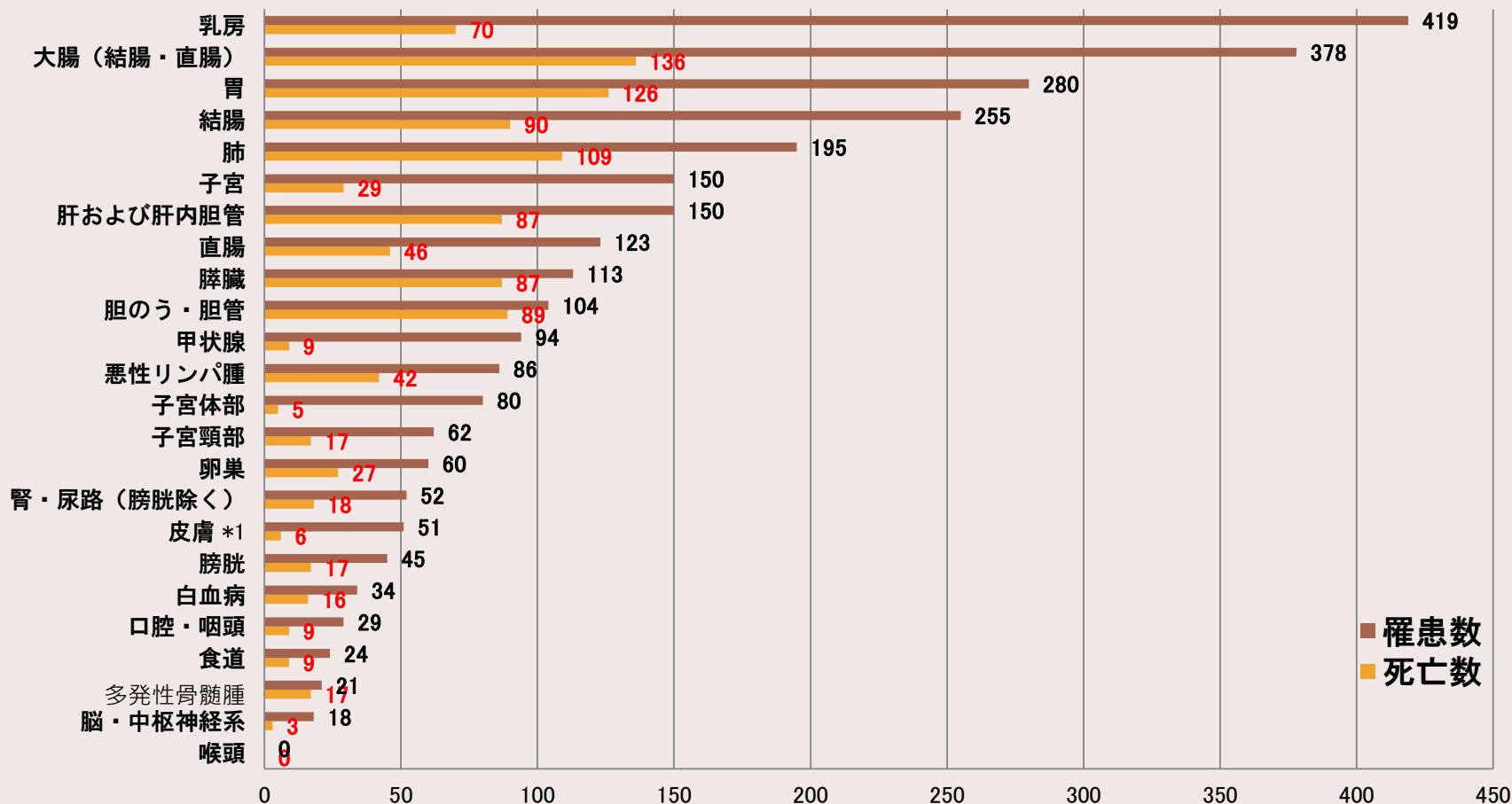
2008年1年間のがんに関するデータ（男）

山梨県がん死亡数・罹患数 男 2008年



2008年1年間のがんに関するデータ（女）

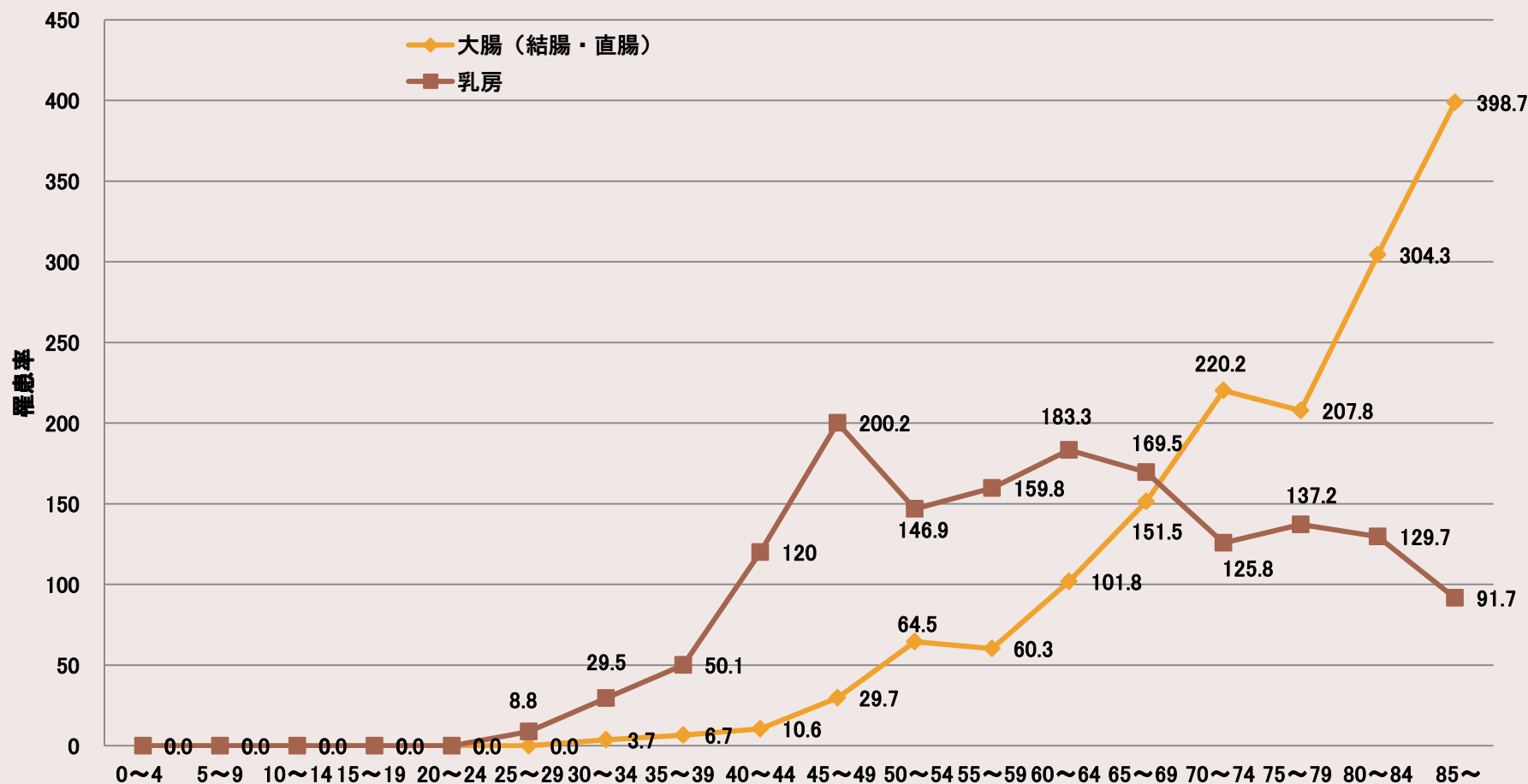
山梨県がん死亡数・罹患数 女 2008年



年齢階級別大腸がんと乳がん罹患率（女）

人口10万対

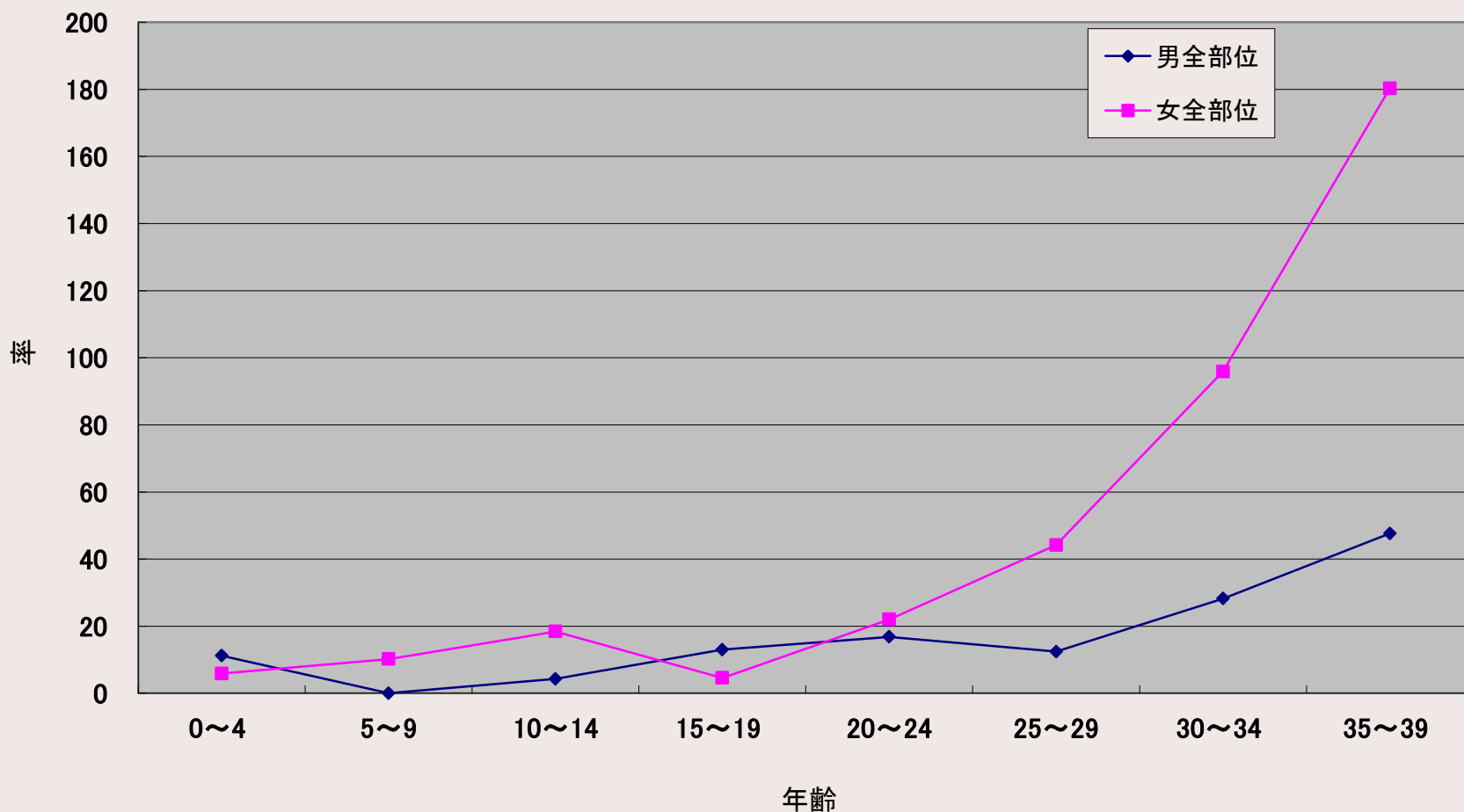
年齢階級別大腸がん・乳がん罹患率（女）



～39歳までの全部位がん罹患率

人口10万対

がん罹患率全部位合計男女～39歳(10万対)



まとめ I

- × 2008年1月から12月までの1年間に、新たにがんと診断された山梨県での罹患数は6070
- × 2008年1年間でのがんによる死亡数は2462
- × 男性の罹患数は胃、大腸、肺、前立腺、肝及び肝内胆管の順
- × 女性の罹患数は乳房、大腸、胃、肺、子宮と肝及び肝内胆管の順

まとめⅡ

- × 年齢階級別によるデータでは、男女間での違いが明確
- × 男性は50代から全体的に増加
- × 女性は20代から40代後半までは男性よりがんの罹患が高い
- × 性差によるがん対策の違いが明らか
- × 各市町村による男女別、年齢階級別に重点をおいた対策が求められる
- × 2012年度は、がん登録のデータに基づいた対策が可能

考察

- × 男性は年齢と共にがんの罹患が高くなるので年齢と共にがん検診等への意識が重要となる
- × 女性は20代からがんに対する意識を高めることが大切
- × 乳がんは早期発見・早期治療での対策が有効なので対策による効果を見守りたい
- × 子宮頸がんは、ワクチン接種と子宮頸がん検診による対策で日本一の成果が期待される